

# さくら国際支援隊だより



校長 伴 光明

これまで各学部で取り組んでいた「国際支援」「国際理解教育」などを、『さくら国際支援隊』として大きくくりにし、学校全体で取り組み、「Sakura Online Expo」では映像で御覧いただきました。

その後も生徒達は「自分達にできることを」とコツコツ頑張りました。ここに今年度の活動のまとめをお伝えいたします。保護者の皆様には様々な御協力をいただき、ありがとうございました。

## I 部門

**I 部門小学部いんごいんごグループ**では、ベルマークを集める活動を行いました。回収箱を作成し、校内の他、地域の郵便局に設置して集めました。予想以上の御協力があり、9275.4点も集まりました。PTAを通じてベルマーク財団に送っていただきます。また、4、6年生準ずる教育課程のお子さんは、高校生と一緒に、永山駅にダルニー奨学金の募金活動に出かけました。最初は緊張していましたが、次第に慣れてきて、一生懸命呼びかけていました。終わった後の晴れやかな表情がとても印象的でした。



**I 部門中学部**では、インクカートリッジ収集活動、テトラパック収集活動を行いました。インクカートリッジは回収総量7kgになりました。回収後、メーカーごとに仕分け、キャップ外し、個数確認の作業を行い、それらをEpson、brother、Canon各メーカーに発送し、ベルマークに替えます。

テトラパックはテトラパックマークを確認、仕分けしました。昨年度からの分別総量が20kg越えたので、日本テトラパック株式会社に2箱発送し、ベルマークに替える予定です。

ベルマークは、すべてPTAを通じてベルマーク財団に送っていただきます。



**I 部門高等部**では、永山駅前での街頭募金活動と、校内や聖ヶ丘商店街に設置させていただいていた書き損じハガキの回収箱による未使用ハガキや切手の収集活動を行いました。駅前での募金活動は総額111,412円、書き損じハガキの回収では切手換算で計23,400円分が集まりました。この活動によって、東南アジアの学校に通うことが困難な学生を3人分、3年間学校に通える学費として、支援いたします。御協力いただいた皆様におかれましては、本当にありがとうございました。



## 「さくら国際支援隊」テーマソング創り

I小4、6年生、I高1年生7名による「七匹の番犬」  
講師 吉岡研一郎氏と作詞から取り組んだ

『ハレルヤ〜君の笑顔に出会えますように』。

MVは吉岡先生のYouTubeでアップしました。

みんなのピュアな気持ちが多くの人々の心を捉えています。

地域のコミュニティ紙の取材も受けました！

異国の子どもたちを思いながら「なんのために活動

をするのか」、曲を聴いて思い直していけるといいです。是非、春休みも聴いてください。



## II 部門

**II部門 中学部**ではゲストティーチャーによる授業を受けて、SDGsについて学びました。学んだことをもとに「地球を守ろう SDGs」というスローガンを作りました。そして、「60億人ダンス SDGs版」を作って発信しました。「まずは世界を知ることから」「私たちは世界とつながっている」刻々と変化する世界情勢ですが、世界に目を向けていくことの大切さを知ることができました。



**II部門 高等部**では今年度も、自分たちにできる国際支援の方法は何か、世界情勢を学びながらユニセフが行っている活動を参考に、各学年で協力して募金活動の準備に取り組みました。ポスター制作、募金箱づくり、募金を呼び掛ける文章作成など、生徒は話し合いを繰り返して新型コロナの状況も考えた対面式でない募金活動を桜祭と三学期に校内で実施しました。総143,891円が集まり、はしか予防のワクチンであれば3837回分を、マラリア予防の蚊帳であれば688張分を支援することができました。全校の保護者の皆様、多大なご協力をいただきありがとうございました。



## ゲストティーチャーによる授業

ミクロネシア連邦のお金は何でしょう？①USドル②日本円③石のお金。  
クイズをしながら協力隊の活動を紹介しました。こんな国もあるんだ！と価値観の違いを知ってもらおうのがねらいです。上の正解は①②③全部

I中生徒を対象に、バヌアツ共和国とZoomで繋いで、授業を行いました。日本滞在経験のあるバヌアツ人二人が、現地のマーケットや海岸を歩いて紹介してくれました。また、簡単な挨拶を教わり盛り上がりました。



